

英語を楽しく

☆ 太平洋戦争中、日本では「英語を使うことは禁止」だった？
太平洋戦争中、日本国民は、

「日本は戦争に勝ち、誰もが日本語を使うようになる。敵国の言葉を学ぶ必要はない。」とか「憎い敵国（アメリカ）の言葉を使ってはいけない。」
など言われたらしい。ほんとう？

English is
a must.



We don't
need
English.



まちがいです。

戦争中、外国語教育は、禁止どころか海軍も陸軍も力を入れていました。海軍は英語を陸軍はロシア語教育に熱心でした。その理由は、

「敵のことばがわからず、敵の動向がわからなければ、作戦の立てようがない。」
からです。ところが海軍が英語に力をロシアがロシア語に力を入れました。どうしてでしょう。それには次のような理由があります。

海軍は、飛行機の生産力や空母艦の建造力においてもアメリカに到底叶わないと思
い戦争を回避の方針でしたが、もし戦争になればアメリカと戦うためには、情報の収
集とその理解は不可欠のために英語教育に力を入れました。

一方、陸軍は、対ロシアという意識を持っていたからと考えられます。1894・5年
日本は清（現在の中国）と戦争を勝利しましたが、その時、ロシアを中心とする三国
干渉のために日本が清に対する利権を妨害されたいきさつがあります。また、1904・
5年には日露戦争をし、かろうじて勝利を得たということもあり、対ロシア路線は不
可欠だったと思われます。そのような訳で陸軍はロシア語教育に力を入れました。

「戦争中、英語教育禁止。」については当時の文部省・内閣情報局・他の各官庁な
ど英語教育を禁止したことはなく、民間やマスコミの過剰な自主規制に過ぎませんで
した。戦争中であっても英語教育がされていましたが、戦時動員のため実際には英語
以外の授業もできませんでした。ですから英語教育をしたくてもできなかった学校が
有り、意図的にやめた学校もあったということです。ただこの時代には、英文学者や
英語を学ぼうとした学生たちにとっては世間の冷たい目があったことは確かです。

英語が禁じられていなかった証拠に軍歌の中に英語の単語の歌詞があるものがあり
ますし、戦闘機の機体にはアルファベットの文字を書いているところもあります。

英語は戦争中であっても必要な外国語であったわけです。

